

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒160-8486

住 所 東京都新宿区新宿5-3-1

氏 名 株式会社ヨドバシカメラ

代表取締役 藤沢 和則

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ヨドバシカメラ		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市殿町3-25		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	カメラ 電気製品 時計 装飾品の小売販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	4,726	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2020 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 8,507	(実) 8,476	(実) 8,589	(実)	(実) 8,871
	(調) 8,274	(調) 8,241	(調) 8,307	(調)	(調)
削減率		(実) 0.4%	(実) -1.0%	(実) %	(実) -4.3%
		(調) 0.4%	(調) -0.4%	(調) %	(調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

	建物延床面積			原単位等の単位	t-CO2/m ²
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(年度)	
排出量原単位等の値	0.03677	0.03664	0.03713		0.03567
活動量の値	231317.39	231317.39	231317.39		-
排出量原単位等の削減率		0.4%	-1.0%	%	3.0%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	川崎YAC事業所の使用量が若干減少した影響で、基準年度に対し排出量および原単位の削減率は0.4%減少となった。
第2年度	新型コロナウイルス感染症の影響でEC売上が増加し、空調及び商品搬送機器の使用量が増えたためエネルギー使用量が増加した。
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

当社は首都圏を中心に全国に店舗展開をしていますが、全社で年平均1%の原単位改善を目標としております。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空調機器の保全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・フィルターや室外機の定期的な保守・点検を実施 2. 空調機器の温度設定管理 3. 照明の点灯管理
<p>第1年度</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空調機器の保全管理を実施した <ul style="list-style-type: none"> ・フィルターや室外機の定期的な保守・点検を実施 2. 空調機器の温度設定管理を実施 3. 人感センサーを多数導入した(新川崎YAC) 4. 商品搬送機器はインバーター化を行った(新川崎YAC)
<p>第2年度</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空調機器の保全管理を実施した <ul style="list-style-type: none"> ・フィルターや室外機の定期的な保守・点検を実施 2. 空調機器の温度設定管理を実施 3. 人感センサーを多数導入した(新川崎YAC) 4. 商品搬送機器はインバーター化を行った(新川崎YAC) 5. LED照明の更新を行った 計11,434台(追加実施) <ul style="list-style-type: none"> 新YAC川崎 4,928台 YAC川崎 278台 川崎ルフロン 5,438台 ヨドバシカメラアウトレット京急川崎 790台
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	○	費用対効果の分析、設置場所等の確認を行い導入を検討する
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商品配送の効率化 2. 従業員の通勤に公共交通機関以外の通勤は一切禁止 3. 省エネ製品の販売 4. 商品の簡易包装による廃棄物の減量化 5. 納品時の大量梱包納品時はパレット(露出)納品の徹底 6. 納品時の梱包材は分別による再資源化
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商品配送の効率化 2. 従業員のマイカー通勤は一切禁止 3. 省エネ製品の販売 4. 商品の簡易包装による廃棄物の減量化 5. 納品時の大量梱包納品時はパレット(露出)納品の徹底 6. 納品時の梱包材は分別による再資源化
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商品配送の効率化 2. 従業員のマイカー通勤は一切禁止 3. 省エネ製品の販売 4. 商品の簡易包装による廃棄物の減量化 5. 納品時の大量梱包納品時はパレット(露出)納品の徹底 6. 納品時の梱包材は分別による再資源化
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	8,507 t-CO ₂	8,476 t-CO ₂	8,589 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	4,504 KL	4,555 KL	4,726 KL	KL
事業所の数	4	4	4	

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
新川崎YAC	川崎区殿町3-25-15	6,589	6,544	6,715	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
ヨドバシカメラ マルチメディア川崎ルフロ	川崎区日進町1-11	1,441	1,464	1,401	